BOSE WORK CONFIGURATION ユーザー ガイド



はし	じめに	4
3	システム/ブラウザ要件	.4
R	商標およびライセンス情報	.5
7	利用規約とプライバシーポリシーについて	.5

Settings(設定)	7
Administrator Settings(管理者設定)	8

Status Tab(ステータス・タブ)	10
----------------------	----

Configuration Tab(コンフィグレーション・タブ)	11
Firmware(ファームウェア)	11
Installing Firmware Manually(ファームウェアのマニュアルインストール)	11
User Access(ユーザーアクセス)	12
Profile(プロファイル)	13
Restoring a Profile(プロファイルの復元)	13
Saving the Current Profile(現在のプロファイルを保存)	13
Uploading a Profile(プロファイルをアップロードする)	13
System(システム)	14
Identity(アイデンティティー)	15

Video Tab(ビデオ・タブ)	16
Camera(カメラ)	16
Saving New Presets / Changing Presets(新規プリセットの保存と変更)	16
Viewing Existing Presets(既存のプリセットの表示)	16
Autoframing(オートフレーミング)	17
Image(イメージ/画像)	18
Audio Tab(オーディオ・タブ)	19
Microphones(マイクロフォン)	19
Dynamic Beams(ダイナミック・ビーム)	19
Static Beams(スタティック(固定)・ビーム)	19
Adding and Deleting Beams(ビームの追加と削除)	20
Exclusion Zones(エクスクルージョン/ 除外ゾーン)	20
Configure Room(部屋を構成する)	20
Audio Controls(オーディオ・コントロール)	21
Meters(メーター)	21

Network Tab(ネットワーク・タブ)	
Wired(有線)	22
Wireless(ワイヤレス)	
Advanced Wireless Security Settings (アドバンスド・ワイヤレス・セキュリティー設定)	24
SNMP Settings(SNMPセッティング)	24
API	

はじめに

Bose Work Configurationアプリケーションを使用して、デジタル・パン&チルト・ズーム (以後「PTZ」)カメラの制御やソフトウェアの更新など、VB1の各設定を構成することができます。 主な構成オプションは次のとおりです。

- ・ビデオ設定(パン/チルト/ズーム、明るさ、コントラストなど)
- ・ユーザー設定(オートフレーム、マイクなど)
- ・管理設定(ネットワークパラメータ、Bluetooth接続など)
- ・ファームウェアの更新(管理設定に含む)

ご注意:

・PTZやカメラブリセットなどの基本設定は、お使いになるユーザーのどなたでも構成・変更ができ、その際に パスワードは必要ありません。ソフトウェアアップデート等を含むその他の構成オプションについては、管理者 のみが使用でき、アクセスにはパスワードが必要となります。

・VB1のHDMIディスプレイポートを使用するには、最新の<u>DisplayLink[®]ドライバー</u>をインストールし、 [Configuration]タブの<u>[User Access(ユーザーアクセス)]</u>ページで、HDMI出力をEnable(有効)にする 必要があります。

・ネットワーク経由でのブラウザによるBoseWork Configurationアプリ(WebUIアプリ)を使用している 場合でも、カメラ映像を表示させるにはUSB接続が必要です。

システム/ブラウザ 要件

Bose Work Configurationアプリは、次のオペレーティング・システムとブラウザで動作 します。

オペレーティング・システム

- Microsoft Windows 8 以上
- macOS® 10.12 以上

ブラウザ

- Google Chrome™, Version 75 以上
- Microsoft Edge, Version 44 以上
- Safari®, Version 12.1.1 以上
- Mozilla Firefox, Version 67 以上

商標およびライセンス情報

Bose, Bose Work およびVideobarは、Bose Corporationの商標です。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIGInc. が所有する登録商標です。およびそれら のマークの使用についてはBose Corporationのライセンスに基づいています。

DisplayLink®は、EU、米国、およびその他の国におけるDisplayLinkCorp.の登録商標です。

Firefoxは、米国およびその他の国におけるMozillaFoundationの商標です。

Google Chromeは、GoogleLLCの商標です。

HDMIという用語は、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

macOSおよびSafariは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

Microsoft, Microsoft EdgeおよびWindowsは、Microsoft Corporationの登録商標または 商標です。

他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

利用規約とプライバシーポリシーについて

Bose Work Configurationアプリケーションの利用規約または<u>Boseプライバシーポリシー</u>を 表示するには<u>Settings(設定)ページ</u>で目的のリンクをクリックします。

Home Screen(ホーム画面) (※USB app のみ)

コンピュータをBoseVideobar VB1の**USB-C-to-PC**ポートに接続できていれば、Bose Work Configurationアプリを開くことが可 能です。初期画面は、カメラ設定の調整を行 うホーム画面となります。

Home Screen(ホーム画面)アイコ ンをクリックすると、アプリの他の画 面からホーム画面にアクセスできま す。

注:USB接続が確立されていない場合は、 VB1が電源とコンピュータのUSBポートに 接続されていることを確認するように画面上 にメッセージが表示されます。

ホーム画面は、すべてのユーザーがアクセス できます。パスワード保護された詳細設定等 は、システム管理者のみが使用可能です。



1. Video Stream(ビデオストリーム): VB1カメラからのライブビデオストリーム。

注:カメラはコンピュータ上の1つのアプリにのみストリーミング可能です。ビデオストリ ームが利用できないというメッセージ表示がされた場合は、カメラを他のアプリで使用し ている可能性があります。

- Camera Pan and Tilt(カメラパン&チルト):ボタンを1回クリックして、カメラを段階的 にパンまたはチルトさせるか、もしくはボタンを長押しすると、連続的なパンまたはチルト の調整ができます。
- Autoframe(オートフレーム):オートフレーム機能のオン/オフを切り替えま す。オートフレームは、パン/チルト/ズーム(PTZ)設定を自動的に調整して、部 屋のすべての参加者を常にフレーム内に収めていきます。自動フレームがオフ の場合、アイコンはスラッシュ付きで表示されます。

注 PTZのカメラコントロールまたはプリセットボタンのいずれかが選択される と、オートフレームは自動的にオフになります。

- Settings(設定): Settings(設定)アイコンをクリックすると、セッティング画面が 開き、ホーム画面アイコンをクリックすれば、ホーム画面に戻ります。
- Administrator(管理者): Administrator(管理者)アイコンをクリックして、 Bose Work Configurationアプリのパスワード保護された構成設定にアクセス します。これらの設定は、システム管理者のみが使用できます。
- Low Light Compensation(低照度補正):自動低照度補正(automatic low-light compensation)を有効/無効にして、薄暗い照明条件でのビデオを最適化します。
- Presets(プリセット):事前に設定したパン、チルト、ズームでカメラ設定をすばやく呼び出せる3つのプリセットボタン(ホーム、1、2)。
- 8. **Zoom(ズーム)**: スライダーを右に動かすとカメラがズームインし、左に動かすとズー ムアウトします。
- 9. Volume(音量):スライダーを右に動かすと音量が上がり、左に動かすと下がります。

Settings(設定)

Settings(設定)ページには、アプリ自体、VB1 のファームウェア/ソフトウェア、およびVB1カメ ラソフトウェアのバージョン情報が表示されま す。アップデートが利用可能な場合は、最新バ ージョンのアプリとファームウェアへのリンクも 提供されます。

リンクをクリックすると、次のドキュメン トにアクセスできます(英語版)。

- Bose Work Configuration UserGuide (本アプリのユーザーガイド)
- Bose Videobar VB1Owner's Guide (VB1 ハードウエアのユーザーガイド)
- Bose Work Configuration app End User License Agreement、Terms of Use (Bose Work Configuration アプリのエン ドユーザー使用許諾契約と利用規約)



• Bose Privacy Policy (Bose プライバシーポリシー)

アプリの各ページの左側の下部にある Settings(設定)アイコンをクリックして、ページにアクセスできます。

Home Screen(ホーム画面)をクリックすると、ホーム画面に戻ります。



Administrator Settings (管理者設定)

アプリには、システム管理者のみが利用できる パスワードで保護された、いくつかの設定があり ます。これらの設定へは<u>ホーム画面</u>からアクセス でき、すべてのユーザーがアクセスできるカメラ 制御設定も含まれています。

Administrator configuration settings (管理者構成設定)へのアクセス方法

- ナビゲーションパネルの Administrator(管理者)アイコンを クリックし、管理画面を表示します。
- 2. 管理者パスワードを入力し、Sign in ボ タンをクリックします。

パスワードを表示または非表示にするに は、[Show Password]を選択または選 択解除します

VB1に初めてログインする場合は、工場 出荷時のデフォルトのパスワードである Bose123! を入力することで、管理者の コンフィグレーション設定にアクセスでき ます。

パスワードは変更されることをお奨め します。

パスワードの要件と変更手順については、<u>Configuration Tab > System > Device</u> <u>Password</u> をご参照下さい。

ログインに5回失敗した場合は、VB1を手動でリセットし、工場出荷時のデフォルト設定に 戻す必要があります(その後は、工場出荷時のデフォルトのパスワードを再度受け入れる ことができます)。VB1のすべての設定を工場出荷時のデフォルトに戻すには、次のいず れかを実行します。

(A) リモコンで、ホームボタンとオートフレームボタンを同時に5秒間長押し または

(B) VB1の側面のミュートボタンとBluetoothペアリングボタンを同時に5秒間長押し



アプリの管理者設定内には、次のタブがあります。

- Status(ステータス): デバイス情報、利用可能なファームウェアアップデートへのアクセス、オーディオ音声、ビデオ映像、および接続ステータスを表示します。
 このタブは、管理者設定に正常にログインすると自動的に表示されます。
- Configuration(構成): ファームウェアをインストールできます。特定のビデオ 映像、オーディオ音声、および接続設定へのユーザーアクセスを構成します。プロファイル、システム設定、および個体識別(Identification)設定を構成します。
- Video(ビデオ映像): カメラブリセットの保存/呼び出し、および、工場出荷時の デフォルトのカメラ設定をリストアします。オートフレーミングへのアクセスを有 効もしくは無効にし、オートフレーミング設定を構成します。low-light compensation(自動低照度補正)を Enabled(有効)もしくは(Disabled)無効 にし、補正設定を構成します。
- Audio(オーディオ音声):リニアマイクアレイを構成し、マイクやその他のオーディオ設定へのアクセスを制御し、オーディオの入力レベルと出力レベルを表示します。
- Network(ネットワーク): 有線接続と無線接続の有効/無効の切り替えや、 ネットワーク接続のインターネットプロトコル(IP)設定、無線ネットワークの セキュリティ設定を構成します。

注:アプリで30分間操作が行われなかった場合、セキュリティ上の理由から2分後に ログアウトすることを示すメッセージが表示されます。Continue(継続)をクリックして アプリの使用を継続するか、Log Out (ログアウト)をクリックしてアプリを閉じます。

カメラコントロールおよびHome Screen(ホーム画面)に戻るには、Administrator (管理者)アイコンをクリックして、Sign Out(サインアウト)ボタンをクリックします。



€] III

<u>___</u>

ţ ţ

R

Status Tab(ステータス・タブ)

Status(ステータス)タブには、VB1との接続 状態に関する以下の情報が表示されます。

- Name(ネーム):VB1に割り当てられた 名称 (Configuration tab の Identity(アイデンティティー) ページ)
- Profile Name(プロファイルネーム):
 VB1にアップロードされた保存済みの 構成Profile(プロファイル)の固有名称
- Firmware Version(ファームウエア パージョン): インストールされたファー ムウェアのバージョン情報

Update Firmware(アップデート)ボタン は更新可能なファームウェアがある場合 のみ表示されます。ボタンをクリックして、 ファームウエアページに移動します。

Camera Version(カメラバージョン):
 VB1のカメラのソフトウエアバージョン情報

W/ Bos	e Work Configuration		<u></u>	×
	Status			
<u>000</u>	Name	VB1-0282		
	Profile Name	Huddle Room 4		
D.	Firmware Version	1.1.24_5a0c60b		
⊈ 4	Camera Version	31.1		
모	Serial Number	081413W03560282AE		
66	USB Audio	Not Streaming		
	Camera	Streaming		
	Wired Connection	<>Connected		
		IP Address: <u>169.254.243.</u>	24	
	Wireless Connection	💮 Disabled		
\$ \$	Bluetooth	🖇 Not Connected		

- Serial Number(シリアルナンバー): VB1のシリアルナンバー
- USB Audio(USBオーディオ): Bluetooth オーディオ・ストリーミングのステータスを Streaming もしくは Not Streamingで表示
- Camera(カメラ): カメラのステータスを Streaming もしくは Not Streamingで表示
- Wired Connection(有線ネットワーク接続): 有線接続のステータス

有線接続が設定されていない場合、ステータスはDisable(無効)になります。

有線接続が確立されると、ステータスは Connected(接続完了)になり、IP アドレスが アクティブリンクとして表示されます。リンクをクリックして、VB1 へのブラウザ接続を 開きます。有線接続が確立されない、または信号が失われた場合、ステータスは Disconnected(切断)と表示されます。

• Wireless Connection(無線ネットワーク接続): 無線接続のステータス

ワイヤレス接続が設定されていない場合、ステータスはDisable(無効)になります。

ワイヤレス接続が確立されると、ワイヤレスネットワークの名称が表示され、IPアドレスが アクティブリンクとして表示されます。ワイヤレス接続が確立され、信号が失われた場合、 ステータスはDisconnected(切断)と表示します。

 Bluetooth(ブルートゥース): Bluetooth接続のステータス 接続ステータス: Connected(接続) or Not Connected(未接続)。接続されている 場合、VB1 とペアリングされているデバイスの名前が、BT オーディオおよび BT コール のステータスとともに Streaming(ストリーミング)もしくは Not Streaming(非ストリ ーミング)として表示されます。

Configuration Tab(コンフィグレーション・タブ)

Configuration(コンフィグレーション)タブには、ファームウェア情報と更新機能や、ユーザーアク セス(ビデオやオーディオに関する特定の機能や接続設定)、プロファイル、システム設定、識別設 定管理などのコントロールが含まれています。

Firmware(ファームウェア)

Firmware(ファームウェア)ページには、現在 インストール済みのファームウェア バージョン を表示し、新しいバージョンが利用可能な場合 はInstall(インストール)ボタンの横にメッセー ジ表示されます。

最新のファームウェアへのインストール方法

1. 有効化された Install ボタンをクリック。

Release Notes(リリース情報)の 横の矢印をクリックすると最新ファーム ウェアのリリース情報の表示/非表示が 行えます。

 Cancel(キャンセル) もしくはContinue (続行)をクリックしファームウェアの更 新を続行するかどうかを確認します。



ファームウェアのマニュアル(手動)インストール

Firmware Page(ファームウェア) ページ ではあらかじめダウンロードされたファームウェア ファイルを直接インストールすることも可能です。その場合は以下の方法となります。

- 1. Upload and Install another version (別のバージョンのアップロードとインストール) で、 Bose Work リンクをクリックして、インストールするファームウェア バージョンを見つけてダウンロー ドします。
- Firmware(ファームウェア)ページのグレーの枠内へ目的のファームウェアの.swuファイ ルをドラッグ&ドロップするか、Browse(閲覧)をクリックしてファイルを参照して選択し、 グレー枠の下にあるInstall(インストール)をクリックします。

インストールが失敗した場合は、インストール中にエラーが発生したことを示すメッセージが表示されます。OKをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

User Access(ユーザーアクセス)

User Access page(ユーザーアクセスページ) では、ビデオ、オーディオ、ネットワークおよび接 続などの特定の設定に対するユーザーアクセス を許可するかどうかを指定できます。

トグルをクリックして、次のVideo(映像)、Audio (音声)、およびNetwork & Connectivity(ネッ トワークと接続)などの機能へのアクセスを Enable(有効)/Disable(無効)にします。

- Video(映像)
 - 。 **Camera(カメラ):**VB1 カメラの Enabled(有効)/Disabled(無効)
 - Autoframe Access(オートフレー ムアクセス): オートフレーム機能の ON/OFF操作に対する Enabled(有効)/Disabled(無効)

注意: 無効にすると、オートフレームは <u>Home screen (ホーム画面)</u>でオフ状 態のままとなります。



- DisplayLink(ディスプレイリンク): DisplayLinkを使用したHDMI出力の Enabled(有効)/Disabled(無効)。デフォルトは Disabled(無効)が選択 されています。
- Audio(音声)
 - Microphone Mute Access: VBIのマイクをミュートする機能に対する Enabled(有効)/Disabled(無効)
- Network & Connectivity(ネットワークと接続)
 - Wired Network(有線ネットワーク接続): Enabled(有効)/Disabled(無効)
 - Wireless Network(ワイヤレスネットワーク接続): Enabled(有効)/Disabled(無効)
 - SNMP: ネットワーク上のSimple Network Management Protocol (SNMP)の Enabled(有効)/Disabled(無効)
 - Bluetooth(ブルートゥース): Bluetooth接続のEnabled(有効)/Disabled(無効)

Profile (プロファイル)

Profile(プロファイル)ページでは、プロファイルを アップロード、ダウンロード、および復元できます。 プロファイルには設定されたプロファイル名が含ま れ、個体識別情報が含まれている場合もあります。

Restoring a Profile

(プロファイルの復元)

インストールされたプロファイルは、工場出荷時の デフォルトであるか、更新されたバージョンである かに関わらず、設定が変更されている(プロファイ ル内の1つ以上のパラメーターが変更されている) 場合はアスタリスク(*)が表示されます。

注意:変更の例として、Bluetooth接続の無効化、 有線ネットワークモードのDHCPからStatic(静的) への変更などが含まれます。

W Bos	se Work Configu	uration					×
	Configu	ration					
<u>l</u>	Firmware	User Access	Profile	System	Ident	ity	
1 →	Active Prof	llo					
ō	Name: Description	Factory Defau Factory Defau	ilts* ilts				
	*Profile par	ameters have be	en edited		Restor	e	
₽	Download J	Active Profile			Save As	i	
ቆ	Upload Pro	file					
		Drag ar to Upl	id Drop or oad & App	<u>Browse</u> ly File			
					Apply		
63							
8							

Active Profile section(アクティブなプロファイルセクション)のRestore(復元)ボタンをクリックすると、プロファイルを復元してすべての変更を破棄できます。現在のプロファイルを変更で上書きするかどうかを尋ねるメッセージが表示され、Cancel(キャンセル)をクリックして変更を保持するか、Restore(復元)をクリックして変更を破棄して以前の設定に戻します。

Saving the Current Profile(現在のプロファイルを保存)

設定を変更した後、変更を新しいプロファイルに保存できます。次に、そのプロファイルを他の VB1にアップロードして、コンフィグレーション設定の時間を節約できます。

変更を加えたコンフィグレーションを新しいプロファイルとして保存するには、Download Active Profile(アクティブなプロファイルをダウンロード)セクションのSave As(名前を付け て保存)ボタンをクリックします。次に、表示されるProfile Description (プロファイルの説 明)フィールドにプロファイルを識別するための説明を追加できます。このフィールドには256 個の英数字の文字制限があります。

Uploading a Profile(プロファイルをアップロードする)

プロファイルをVB1にアップロードするには、Upload Profile(プロファイルをアップロード) セクションのグレーの枠内へ、ファイルをドラッグアンドドロップするか、Browse(閲覧)を クリックしてアップロードするファイルを参照して選択し、Apply(適用)をクリックします。

注: プロファイルをアップロードすると、現在のVB1設定が上書きされます。

System(システム)

System(システム)ページには、システム設定、 システムログ、パスワード設定のほか、工場出荷時 のデフォルト設定の復元やVB1の再起動のための コントロールがあります。

- CTRL Active(コントロール・アクティブ): 接続されている警報システムのアクティブ状態 を High(高)/Low(低)で指定します。デフォルト 設定は Low(低)です。
- Time Zone(ローカルタイムゾーン)を選択します。
- NTP Server(NTPサーバー): ネットワーク タイムプロトコル(NTP)サーバーのIPアドレ スを選択または入力します。NTPサーバー を使用するには、ネットワークに接続している 必要があります。
- Low Power Mode(省電力モード): ローパワー(省電力)モードを
 Enabled(有効)/Disabled(無効)にします。
 Enabled(有効)にすると、VB1は2時間アイドル状態が続くと、低消費電力の
 スタンバイモードとなります。



- Download Logs(ダウンロードログ): ログ・ファイルをダウンロードします。
- Device Password(デバイス パスワード): Change(変更)をクリックして、VB1のパスワードをリセットします。New Password(新しいパスワード)フィールドとConfirm Password(パスワードの確認)フィールドの両方に新たに設定するパスワードを入力し、 Save(保存)をクリックします。

パスワードには次のものが含まれている必要があります:

- 。 8~12 個の半角文字
- 。 ひとつ以上の大文字
- 。 ひとつ以上の小文字
- 。 ひとつ以上の数字
- 。 ひとつ以上の特殊記号

ログインに5回失敗した場合は、VB1を手動でリセットして、工場出荷時のデフォルト設定に 戻す必要があります(工場出荷時設定に戻るとデフォルトのパスワードを再度入力すること ができます)。VB1のすべての設定を工場出荷時のデフォルトに戻すには、次のいずれかを 実行します。

- (A) リモコンで、Home(ホーム)ボタンとAutoframe(オートフレーム)ボタンを同時に5 秒間長押し
- (B) VB1本体の側面ボタンで、Mute(ミュート)とBluetoothを長押し
- Restore All Settings to Default (すべてのセッティングを工場出荷時に戻す):
 VB1の全てのセッティングを工場出荷時のデフォルト設定で復元します。
 Restore Factory Defaults (工場出荷時のデフォルトに戻す)をクリックします。
- Restart Device(デバイスの再起動): Restart Now(今すぐ再起動する)をクリックし、 すぐにVBIを再起動させます。(このボタンの表示には、下へスクロールさせる必要がある場合が あります。)

Identity(アイデンティティー)

Identity(アイデンティティー)ページでは、VB1 にユーザーが識別名称等を編集して付けること ができる欄があります。これらの名称は、Bose Work Managementアプリで(複数の場所に ある)複数のデバイスを一覧表示し、並べ替える ときに役立ちます。

以下のフィールドを編集して、VB1の識別情報を提供できます。

- Device Name (デバイスの名称)
- Building (建物)
- Floor (フロア、階)
- Room (ルーム、部屋)
- Capacity (キャパシティ)



Video Tab(ビデオ・タブ)

Video(ビデオ)タブには、Camera(カメラ)調整コントロール、 Autoframing(自動フレーミング)、およびImage(画像)プロセッシング処理があります。

Camera(カメラ)

Camera(カメラ)ページには、カメラのパン/ チルト/ズーム(PTZ)コントロールと、 Camera Preset(カメラプリセット)を保存 する機能があります。これらのプリセットに より、ユーザーはカメラの位置をすばやく変 更できます。

Saving New Presets/ Changing Presets(新 規プリセットの保存、プリ セットの変更)

Controls(コントロール) セクションで、 Pan(パン)、Tilt(チルト)、Zoom(ズーム)の 設定を調整し、Save as Preset(プリセットと して保存)をクリックして、Preset 1、Preset 2、またはHomeとして保存するかどうかを指 定します。

注:ユーザーは、VB1 リモコンの対応する Preset(プリセット)ボタンを3 秒間押し続け ることで、Preset 1 または2 を保存すること もできます。ただし、Home のプリセットは、 アプリの Administration(管理)エリアでの みプリセット保存できます。



Viewing Existing Presets(既存のプリセットの表示)

プリセット名の上にマウスを置くと表示されるViewアイコンをクリックすると、既存の プリセットを表示または呼び出すことができます。プリセット登録が存在しない場合、 このアイコンは表示されません。



注:行った変更を保存せずにページを終了しようとすると、保存されていない変更について警告 するメッセージが表示されます。Cancel(キャンセル)をクリックして変更を保存できるCamera (カメラ)ページに戻るか、Leave(終了)をクリックして変更を破棄します。

Autoframing(オートフレーミング)

Autoframing (オートフレーミング)ページで は、Autoframe Access(オートフレームアクセ ス)をEnable(有効)またはDisable(無効)を選 択できます。これによりユーザーは、リモコンも しくはモバイルデバイスのBoseWorkアプリを 使用してオートフレーム機能のオンとオフを切り 替えることができます。

- AutoframeAccess(オート(自動)フレーム 機能): ユーザーアクセスをEnabled(有効) /Disabled(無効)にします。
- AutoframeOn/Off:オートフレー ムアイコンをクトックして、オートフレーム
 をON/OFFします。

注: Autoframe Accessが Disabledに設定されている場合、 もしくはAutoframeがOFFの場 合、このページの他の設定は無効 となりグレー表示されます。

 Headroom Adjustment: ヘッドルーム を調整します。Standing(立位)または Sitting(座位)を選択して、カメラフレーム の上部と被写体の頭の間のスペースを指 定します。スタンドアップミーティングの場 合はStandingを選択し、その他の場合は Sittingを選択します。



- Zoom Speed: ズームスピードを調整します。人物が室内を動いた際に、VB1カメラがズーム イン/ズームアウトする際の速度を選択します。:Slow(低速)、Normal(通常)および Fast(高速)
- Pan/Tilt Speed: パン/チルトスピードを調整します。人物が室内を動いた際に、VB1カメラが PAN(左右)/チルト(上下)する際の速度を選択します。: Slow(低速)、Normal(通常) およびFast(高速)
- Autoframe Border Size: オートフレームのボーダーサイズ(フレーム画像の境界線のサイズ) を選択します。: Small(小)、Normal(標準)、またはLarge(大)。最も小さいボーダーサイズ(最大ズームのフレーム)を使用する場合は、Small(小)を選択します。
- Autoframe Information: トラブルシューティング機能である、オートフレームイン フォメーションを有効/無効にするには、このスイッチをクリックします。Enable(有効) に設定すると、オートフレームオブジェクトがビデオ画像に重ね合わせて表示(スーパ ーインポーズ)されます。これらは、遠隔の会議参加者側での映像とセルフビューに も表示されます。

Image(イメージ/画像)

Image(画像)ページには、次のカメラ画像設 定があります:

 Low Light Compensation: このボタン を選択/選択解除して、自動低照度補正の On/Offを切り替えます。Onに設定する と、低照度補正は薄暗い照明条件でビデオ を最適化します。

Backlight CompensationがOffに設定 されている場合にのみ、Low Light CompensationをONに設定できます。

 Backlight Compensation: 逆光補正 を調整します。Low(低)、Medium(中)、 またはHigh(高)を選択して、明るい光源 がある条件での画像露出の調整レベル を設定します。(例として逆光補正は、明 るい照明の前でシルエットを描いている 人をよりよく照らします。)逆光補正を無 効にするには、Offを選択します。

Backlight Compensation(逆光補正) がLow(低)、Medium(中)、または (High)高に設定されている場合、Low Light Compensation(自動低照度補 正) は自動的に Offに設定されます。



- Antiflicker/Power Line Frequency(アンチフリッカー/電力線周波数): 室内の照明の AC周波数(Hz)を50/60で指定し、アンチフリッカー調整を行います。この機能は、ビデオ 画像に見られるちらつきを補正します。この機能を無効にするには、Offを選択します。
- Brightness(ブライトネス): 画像の全体的な明るさ/暗さのブライトネスを設定します。
- Contrast(コントラスト): 画像の明るい領域と暗い領域の差を設定します。
- Saturation(彩度): 色彩の鮮やかさについて設定します。
- Sharpness(シャープネス): 画像の鮮明度を設定します。
- White Balance(ホワイトバランス): 光源の色温度のバランスを設定します。自動 を選択して、残高を自動的に設定します。
- Restore Image Settings to Defaults (画像設定をデフォルトに戻す): これらの設定 を工場出荷時のデフォルトに戻します。
- Video Resolution Overlay (ビデオ解像度オーバーレイ): このトラブルシューティング 機能を有効/無効にするには、これを選択/選択解除します。有効にすると、画面の解像度 情報がビデオ画像に重ね合わせて表示(スーパーインポーズ)されます。これは、遠隔の 会議参加者とセルフビューに表示されます。

Audio Tab(オーディオ・タブ)

Audio(オーディオ)タブでは、マイクアレイの設定、オーディオの設定、およびオーディオの 入力レベルと出力レベルにアクセスできます。

Microphones(マイクロフォン)

Microphones (マイク)ページでは、マイクのBeam Type(ビームタイプ)を指定し、(それぞれの ビームタイプに応じた)ビームを設定して、室内の話者の検出を最適化できます。除外ゾーンを設 定して、不要なノイズを最小限に抑えることもできます。

マイクビームはライブビデオストリームにオーバーレイされ、マイクビームのカバレッジを視覚的に 表現します。

全画面モードで画像を表示するには、Expand(展開)アイコンをクリックします。

Dynamic Beams(ダイナミック)

デフォルトのビームタイプはDynamic(動的/ダイ ナミック)です。ここでは、部屋で最も大きな音を自 由に検索する単一のビーム(白い線)と、部屋で話 している人に自動的に向けられる追加のダイナミ ックビーム(半透明の色のシェイプ)があります。

もしStatic(静的/固定)ビームをすでに保存して いて、Dynamic(動的/ダイナミック)ビームに戻し たい場合は、Beam TypeをDynamicに設定し、 Save Beams as Dynamic(ビームを動的として 保存)をクリックします。

Static Beams(スタティック/固定)

室内の状況によっては、話者がいる特定の場所に だけStatic(スタティック/静的/固定)ビームを向 けることで、パフォーマンスを向上させることがで きます。この場合、Beam Type(ビームタイプ)を Static(静的)に設定し、+Beam を使用して手動 でビームを追加し、室内の話者がいる特定の場所 にドラッグします。

これらのビームを保存するには、Save Beams as Static(ビームを固定として保存)をクリックし ます。

キャンセルするには、Beam Type(ビームタイ プ)をDynamic(動的)にするか、Microphones ページを終了します。



K 7

19

Adding and Deleting Beams (ビームの追加と削除)

ビームを追加する場合は、+Beamをクリックします。

ビームを削除するには、ビームをクリックして選択し、Delete (削除)アイコンを クリックします。(ビームを選択した際にのみ表示され、選択したビームと同じ色 が削除されます。)



注: 最大4つのビームを作成できます。 + Beamボタンは、ビームが4つ未満の場合にのみア クティブになります。

Exclusion Zones (エクスクルージョン/除外 ゾーン)

Exclusion zones(除外ゾーン)は、 Dynamic(ダイナミック)マイクビームが向くこと がないエリアを指定してやることにより、不要な ノイズを最小限に抑えたい場合に適しています。

デフォルトでは、2つのExclusion zones(除外 ゾーン)が存在し、室内の映像の左下と右下にグ レーのエリアで表されます。

注: これらのデフォルトのExclusion Zone (除外 ゾーン)は削除したり小さくしたりすることはでき ませんが、広げることは可能です。

別の除外ゾーンを追加するには +Exclusion Zoneを押して、画面にさらにグレー のゾーンを追加します。 注: Exclusion Zone (除外ゾーン)は最大3つ までとなり、+Exclusion Zone ボタンは、追加 の除外ゾーンが加えられていない場合にのみア クティブとなります。

Exclusion Zone (除外ゾーン)の適用範囲を拡大または縮小するには、除外ゾーンの端を クリックして目的の角度にドラッグします。

Exclusion Zone (除外ゾーン)を削除するには、除外ゾーンをクリックして選択し、Delete (削除)アイコンをクリックします(除外ゾーンを選択した場合にのみ表示)。

Configure Room (部屋を構成する)

Configure Room (部屋の構成)設定は、VB1マイク ビームには影響しません。それらは、画像に表示される ビームの視覚的表現の長さのみを変更します。Width (幅)とDepth(奥行き)を調整して、ビームを短くしたり長 くしたりできます。これは、ビームが部屋のプレゼンター と、どのように交わるかの確認に役立ちます。

注:これらの設定を工場出荷時のデフォルトに戻すには、 Restore Defaults(デフォルトに戻す)をクリックします。





Audio Controls(オーディオ・コントロール)

Controls(コントロール)ページでは以下の機能へのアクセスを有効/無効にできます。

- Microphone Mute Access:(マイクミュート): VBIマイクをミュートするユーザーの 機能をEnabled(有効)/Disabled(無効)にします。
- Acoustic Echo Cancellation (エコーキャン セレーション): アコースティックエコーキャン セレーションをEnabled(有効)/Disabled (無効)にします。
- Room Compensation(部屋の補正):残響の多い室内での音声処理をEnabled(有効)/Disabled(無効)にします。この機能を有効にすると、(ガラスの壁など)残響の多い空間で使用する場合にVBIマイクの明瞭度が向上します。デフォルトはDisabled(無効)です。
- Analog Input Gain(アナログ入力ゲイン): 必要に応じてゲインを設定し、外部ソースの音量と他のオーディオソース(USBおよび Bluetoothオーディオ信号)のバランスを取ります。



- Speaker Volume(スピーカー音量): VB1スピーカーのオーディオレベルを設定します。 この設定は、コンピュータのボリュームコントロール、リモートコントロール、またはペア リングされたモバイルデバイスのボリュームコントロールでも調整が可能です。
- Bridged Bluetooth Calls (Bluetooth通話のブリッジ機能): Bluetooth通話とメディア がアクティブなWeb UC通話にブリッジする機能をEnabled(有効)/Disabled(無効) にします。
- Restore Audio Controls to Defaults:(オーディオ・コントロールをデフォルトに 再設定):工場出荷時設定のデフォルトへ再設定します。

Meters(メーター)

Meters(メーター)ページには、Bluetoothオーデ ィオ、USBオーディオ、およびVB1マイクアレイの オーディオInput Levels(入力レベル)と、 Bluetoothオーディオ、USBオーディオ、および VB1スピーカーのOutput Levels(出力レベル) が含まれています。

W Bose Work Configuration - 🗌 🗙						
	Audio					
<u></u>	Microphones Controls	Meters				
s.	Input Levels					
	Bluetooth	0		MAX		
œ	USB	0		MAX		
¢]₁	Microphone Array	0	-	MAX		
모	Output Levels					
00	Bluetooth	0	-	MAX		
	USB	0	-	MAX		
	Speaker	0		MAX		
63						

Network Tab(ネットワーク・タブ)

Network (ネットワーク)タブでは、有線、ワイヤレス、およびSimple Network Management Protocol (SNMP)のネットワーク構成設定にアクセスできます。

Wired(有線)

Wired(有線)ページのStatus(ステータス)で 有線ネットワークのEnabled(有効)/ Disabled (無効)を設定できます。

ここで、有線ネットワークを有効にして接続され たIP 設定を確認し、構成することができます。

- IP Configuration(IP構成): DHCP (動的/自動)またはStatic(静的/固定) を選択します。
 - DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) VB1のIP Address (IPアドレス)、Subnet Mask(サブネットマスク)、およびその 他のネットワークパラメータ(該当する 場合)を自動的に割り当てます。
 - Staticを選択して、IP Address(IPア ドレス)とSubnet Mask(サブネットマ スク)を手動で入力します。設定の構 成が完了したら、Apply(適用)をクリッ クします。



Apply(適用)ボタン(Static IP構成の場合)は、必要最小限の情報(IPアドレスと サブネットマスク)を入力するまで非アクティブのままです。Apply(適用)をクリ ックするまで、変更は有効になりません。

以下のオプション設定は、IP Configuration(IP構成)がStaticに設定されている場合にのみ構 成できます。これらの設定は、IP Configuration(IP構成)がDHCPに設定されている場合は読 み取り専用です。なお、MAC Address(MACアドレス)は常に読み取り専用です。

- Default Gateway(デフォルト・ゲートウェイ):トラフィックを他のネットワークに転送するため に使用されるIPアドレス
- Primary DNS(プライマリーDNS): VB1にIPアドレスを割り当てるプライマリーDNSサーバーのIPアドレス
- Secondary DNS(セカンダリー DNS): プライマリーDNSサーバーが使用できない場合に VB1にIPアドレスを割り当てるDNSサーバーのIPアドレス
- MAC Address(MACアドレス):メディアアクセスコントロールアドレス。ネットワークイン ターフェイスコントローラー(NIC)に割り当てられた個体の識別番号
- Restore Defaults(デフォルトに再設定):全てのネットワーク設定を工場出荷時のデフォルトに戻す

注:VB1はAutoIPもサポートしています。IP構成がDHCPに設定されていて、DHCPサーバーが 見つからない場合、VB1は自動的にAutoIP範囲のIPアドレスを割り当てます。

Wireless(ワイヤレス)

Wireless(ワイヤレス) ページの Status(ステ ータス)でワイヤレスネットワークのEnabled (有効)/Disabled(無効)を設定できます。

Network (ネットワーク) メニューには、使用可能 なネットワークのリスト、各ネットワークの信号強 度、およびネットワークがパスワードで保護されて いる場合はロックアイコンが含まれます。WPA2 ネットワークを選択した場合は、表示されるフィー ルドにパスワードを入力し、Join(参加)をクリック してネットワークに接続します。

ワイヤレス接続が確立されると、Status(ステータ ス)に「Connected(接続済み)」と表示されます。 次に、Automatically Connect(自動接続)チェ ックボックスを選択すると、今後のそのネットワー クへの自動再接続を許可できます。

またワイヤレスネットワークがEnable(有効)に なっている場合は、次のIP設定を表示および構 成できます。



- IP Configuration(IP構成): DHCP(動的/自動)またはStatic(静的/固定)を選択します。
 - DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) はVB1のIP Address (IPアドレス)、Subnet Mask(サブネットマスク)、およびその他のネットワークパラメータ(該当する場合)を自動的に割り当てます。
 - Staticを選択して、IP Address(IPアドレス)とSubnet Mask(サブネットマスク)を 手動で入力します。設定の構成が完了したら、Apply(適用)をクリックします。

Apply(適用)ボタン(Static IP構成の場合)は、必要最小限の情報(IPアドレスとサブ ネットマスク)を入力するまで非アクティブのままです。Apply(適用)をクリックする まで、変更は有効になりません。

以下のオプション設定は、IP Configuration(IP構成)がStaticに設定されている場合にのみ構 成できます。これらの設定は、IP Configuration(IP構成)がDHCPに設定されている場合は読 み取り専用です。なお、MAC Address(MACアドレス)は常に読み取り専用です。

- Default Gateway(デフォルト・ゲートウェイ):トラフィックを他のネットワークに転送するため に使用されるIPアドレス。
- Primary DNS(プライマリーDNS): VB1にIPアドレスを割り当てるプライマリーDNSサーバーのIPアドレス
- Secondary DNS(セカンダリー DNS): プライマリーDNSサーバーが使用できない場合に VB1にIPアドレスを割り当てるDNSサーバーのIPアドレス
- MAC Address(MACアドレス):メディアアクセスコントロールアドレス。ネットワークイン ターフェイスコントローラー(NIC)に割り当てられた個体の識別番号
- 注:VB1はAutoIP(リンクローカル)もサポートしています。IP構成がDHCPに設定されていて、DHCPサーバーが見つからない場合、VB1は自動的にAutoIP範囲のIPアドレスを割り当てます。

Advanced Wireless Security Settings(アドバンスド・ワイヤレ ス・セキュリティー設定)

高度なセキュリティ設定が必要なネットワークを選択すると、システムは関連する Configuration(構成)フィールドを自動的に検出して表示します。

例えば、802.1 × EAPネットワークを選択すると、802.1 × EAPパスワードが必要であるとメッセ ージが表示され、Password(パスワード)フィールドと共に、メニューでは以下の関連付けられた セキュリティ設定を指定できます。

- EAP Method(EAP方式)
- Phase 2 Authentication (フェーズ2 認証)
- CA Certificate (CA証明書)
- Identity (ID)
- Anonymous Identity (匿名ID)

ネットワークメニューからJoin Other Network (他のネットワークに参加)を選択すると、 Find and Join a Wireless Network (ワイヤレスネットワークの検索と参加)メッセージが開き、 Network Name(ネットワーク名)を入力してSecurity (セキュリティ)メニューからセキュリティ の種類を選択するように求められます。セキュリティタイプを選択すると、関連するセキュリティ 設定の追加のコンフィグレーション・フィールドが表示されます。

すべてのネットワーク設定を 以前の値に復元するには、Restore Defaults(初期設定に戻す) をクリックします。

SNMP Settings(SNMPセッティング)

VB1は、ネットワークの管理と監視のためにSNMP (Simple Network Management Protocol) をサポートしています。 **Reset**(リセット)をクリック してこのページを以前の設定に戻すか、**Apply**(適 用)をクリックして変更を適用します。

- Status(ステータス): VBIのSNMP Palls/Traps(ポール/トラップ)の受付けを Enable(有効)/Disable(無効)にします。
- Authentication Protocol:(認証プロトコル): VB1はSNMP v3をサポートします。 オプションの認証プロトコルを選択して、ユ ーザーのIDを確認します。
- Username(ユーザー名): SNMP v3情報 にアクセスできるユーザー名(最大32文字)
- Password(パスワード): SNMP v3情報 にアクセスできるユーザーのパスワードを 入力します(最大32文字)。このパスワード は、authentication passphrase(認証パ スフレーズ)と呼ばれることもあります。パ スワードを表示または非表示にするには、 Show Password(パスワードを表示)チェ ックボックスを選択または選択解除します。



Encryption Protocol(暗号化プロトコル): VB1はSNMPv3をサポートします。
 オプションのプライバシープロトコルを選択して、データの機密性を確保します。

- Privacy Passphrase (プライバシーパスフレーズ): SNMPv3情報にアクセス できるユーザーのプライバシーパスフレーズを入力します。認証を有効にせずに プライバシーを有効にすることはできません。
- Trap Server (トラップサーバー): SNMPサーバーのIPアドレスを入力します。
 VB1は、MIBごとにこのアドレスにTraps(トラップ)とevent notifications (イベント通知)を送信します。

注:SNMPを介してVB1でサポートされる特定のポール/トラップの詳細について は、VB1 APIを参照してください。

API

VB1は、ネットワーク管理および監視用のREST API(representational state transfer application programming interface)をサ ポートしています。Reset(リセット)をクリックし てこのページを以前の設定に復元するか、 Apply(適用)をクリックして変更を適用します。

- Status(ステータス): VB1をEnable(有 効)/Disable(無効)にしてRESTAPI通信を受 け入れます。
- Username(ユーザー名): REST API情報 にアクセスできるユーザーのユーザー名を入 力します(最大32文字)。
- Password(パスワード): REST API情報に アクセスできるユーザーのパスワードを入力 します(最大32文字)。パスワードを表示また は非表示にするには、Show Password(パ スワードの表示)チェックボックスを選択また は選択解除します。



注:REST APIを介してVB1でサポートされる特定のメッセージの詳細について は、<u>REST API Documentation(APIドキュメント文書)</u>リンクをクリックしてくださ い。

